



## ■ コープ商品の意義・考え方

1. 安全であること
2. 安心できる品質であること
3. 適正価格であること
4. 生鮮商品は新鮮であること
5. くらしの見直しやくらしの助け合い、地域づくりに寄与する商品であること

### ■ コープ商品

#### co-op 日生協開発商品

全国の生協が加盟する日本生活協同組合連合会で開発しているコープ商品。

#### Hearts coop 県民せいきょうオリジナル商品

県民せいきょうが開発しているハーツオリジナル商品。

#### coop コープ北陸開発商品

北陸3県の生協が加盟するコープ北陸事業連合が開発しているコープ商品。

#### Coop's コープこうべ開発商品(コープス)

コープこうべが開発しているコープ商品。

## ■ 安全確認業務（商品検査）

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

項目	22年度実績	21年度実績	前年比
商品検査数	8,537件	8,491件	100.5%
工場点検数	77件	91件	84.6%

■ 2022年度検査数

	検査数	主な検査商品
微生物検査	年間 8,395品	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査等	年間 142品	・福井県産直協議会生産者の農作物など

## ■ HACCPに沿った取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準通り製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、食品加工センター、きらめきにおいてHACCPに沿った衛生手法に取り組み、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。



## ■ ふくいレインボーフーム

### つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりに貢献

安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。現在、あわら市で露地園芸、敦賀市で米づくり、施設園芸、みかん栽培を行っています。



## ■ 食品加工センター

地産地消をさらに推進するために、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農作物を使用した惣菜や弁当の製造を行う食品加工センターを、2018年4月より稼動しました。

食品加工センターでは、野菜の加工や食材セット「パパッとCOOK」、食事宅配の弁当、ハーツの惣菜、福祉施設の食事などを製造しています。HACCPに沿った衛生管理を徹底しており、原料受け入れから商品出荷までの各工程で、食中毒などの危害を未然に防止する取り組みを行っています。



### 農業体験や食育活動

新人職員や、職員研修、大学ゼミを通した学習のほか、産直協議会など組合員活動での農業体験・見学の受け入れを行っています。また、レインボーフーム応援団を結成し、組合員のみなさんと共に農作業に取り組んでいます。

